校訓　ゆたかに　正しく　たくましく

SCRAM（スクラム）

令和5年度　小野部田小学校
学校通信　第7号（R5.10.6）
文責　校長　中嶋　利彦

前期終了！秋休みに入ります

令和５年度の前期が終了しました。４月から数えて９７日間でした。この間、就任式・始業式、運動会、集団宿泊教室（５年）、宇城小体連水泳教室、水俣に学ぶ肥後っ子教室、見学旅行（２年、４年）など様々な行事を経験し、子供たちは大きく成長してきました。

行事だけでなく、日々の授業や学校生活を通してたくさんのことを学び、力を付けてきました。それぞれの担任の先生が記された通知表に目を通すと、前期での子供たちの活躍や成長の様子がしっかり伝わってきます。通知表に係れていた言葉をワードごとにまとめてみると右図のようになりました。出現頻度が高い言葉は大きく表示されています。見てわかるように一番大きな文字は「できる」でした。子供たちはたくさんのことができるようになり、自信を付けたことも多かったのではないかと思います。

小野部田校区のパワー全開！

１０月１日（日）に４年ぶりとなる市民体育祭（小野部田会場）が実施されました。多くの校区民の方が一堂に会して、１８種目の競技で地区の誇りと威信をかけてガチンコ勝負で競い合われる姿は圧巻でした。小野部田小学校の子供たちの姿もたくさん見ることができました。改めて、地域全体で見守られながら子供たちが過ごしていることを実感しました。

体がバリバリ動く年代の方ばかりでなく、高齢者の方の参加もあり、様々な年代の方の縦のつながりや地域のコミュニティが充実しているからこその一大イベントだったと思います。体育祭の内容もさることながら、準備や撤収の手際の良さから小野部田校区の強みだなあと感じました。中でも、本校卒業生である小川中学校の生徒さんの行動力にとても感心しました。小学校の時の経験を活かして、率先して片付け作業に参加している姿は本当に清々しく、小野部田の宝だと思いました。

このイベントを通して、小野部田小学校の子供たちも多くのことを学ぶことができたと思います。自分のふるさとに誇りをもち、大切にしていくこのすばらしい伝統を、しっかり受け継いでいけるよう、今後の指導にも生かしていきます。

○○の秋 ～秋を満喫しましょう～

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋など、１０月に入り、過ごしやすい季節の到来に心が何となくワクワクしてきます。

海外の様々な国と比較すると日本人の読書量は極端に低いそうです。私自身も子供ころや学生時代に比べると読書量が確実に減っています。

今年の秋は、たくさん本を読んでみようと思っています。皆さんは、どんな秋を楽しみますか？